

荒川区区政改革懇談会

福祉・健康・子育てグループ第1回会議録

【日時】

3月21日（火）14：00～15：00

【場所】

荒川区役所 304・305 会議室

【次第】

1：自己紹介

4：次年度の進め方

2：これまで参加した感想

5：その他

3：次年度の検討テーマについて

グループ討議

全体会に続き、グループ討議を行った。

コンサルタントより、本日のグループ討議についての説明がなされた。

1. これまでの感想と自己紹介
 2. 4月以降グループとして検討したいこと
 3. グループの進め方
- について話し合うこととした。

【これまで参加した感想・来年度の要望】

- ・ 今年度は楽しく討議ができた。次年度は、子育て・教育を中心に次代を担う子どもたちのために、どんな社会を目指していけば良いか検討したい。
- ・ 次年度は健康に留意してがんばりたい。
- ・ 今年は楽しくできた。
- ・ 今まで自分がしてきた子育ての経験を生かしたい。福祉・健康にも興味がある。
- ・ 福祉を中心に次年度は話し合えば良いと思う。
- ・ 今年は欠席が多かった。次年度は、荒川区の特徴を再認識し、産業に生かしたい。
- ・ 福祉については、まったく知識がないが、これから勉強したい。
- ・ 子育てを中心に話し合ってきた。福祉とか産業とかは身近な問題に感じられない。次年度も教育について話し合っていきたい。
- ・ 茜グループで教育について話し合ってきた。教育について次年度も話し合っていきたいがこのグループのテーマにないので残念である。
- ・ 福祉・健康は今の自分にとって身近な問題と思えないが、今後勉強したい。
- ・ 教育について、茜グループで勉強した。次年度も教育について、もっと議論を深めたかったが、グループ分けで福祉・健康というグループに入ってしまったので残念。子どもが地域の人にお世話になっているので自分も地域のために何かをしたいと思っている。

【4月以降のグループのテーマについて】

4月以降の検討テーマの頭だしについて、各委員から意見を出してもらった。

- ・ 各人が希望したテーマを話し合えるグループに配置されていない人が多い。福祉・健康・子育ての中からテーマを決めなければならないのか。
- ・ さまざまな年代が集まって、世代間交流ができれば良いと思う。
- ・ 子育ての問題が身近な問題であるため、子どもにとってどんな環境が良いのかについて話し合いたい。
- ・ 教育について、昨年度に検討したことを発展させたい。子どもをとりまく環境について検討したい。
- ・ 子どもへの思いやり等の心の教育を中心に検討したい。また、子どもの安全についても、地域でどのように対応していくべきか話し合いたい。高齢者・障害者を含めて、安心して年をとれるような荒川区になれば良いと思う。
- ・ 子どもを安心して育てられる環境をつくりたい。就労支援や障害者への支援、高齢者に対する支援等について話し合っていきたい。
- ・ 子育てが障害児と健常児に分けることなく行われ、一つの社会の中で共生できるようにしたい。障害者はいつも障害者という枠の中で扱われているように思う。
- ・ 子育ての経験者として良いことを伝えていきたい。若い人の意見も取り入れて子育てについて話し合っていきたい。
- ・ 荒川区の歩道は段差が減り、よくなっている。健康のためのスポーツセンターの活用を勧めたい。子育てはまず母親の教育が必要である。家の中に閉じこもっている高齢者を外に出すことが大切である。
- ・ 子どもを生みやすい環境づくりについて、子どもの心の教育(道徳教育)について、学校教育のあり方について等検討したい。

【今後のグループの進め方について】

- ・ 年間の予定を立てて進めるのは難しいと思う。話し合っていくうちに、少しずつ進んでいく方が良い。
- ・ 教育について話し合いたい。学校教育で使う副読本が必要。子どもの視点に立って、言葉遣いや公共の場でのマナー等を教えるべきである。
- ・ 教育について、このグループでも扱えるのか。
- ・ 子どもについて考えるのに、教育ははずせない。教育について検討したい。

コンサルタントから「グループのリーダーを決め、議事の進行をお願いしたい」と提案したが、進行役を担ってもいいとの意見や今年度と同様の進め方でいいとの意見もあり、コンサルタントが再度検討することになった。

【次回日程について】

4月以降に次回日程を通知することにした。

また、都合の悪い日が事前にわかったら区に連絡することにした。

以上